

## 令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興基金助成）

### ■調査概要

助成団体	公益財団法人日本相撲連盟
活動細目名	競技会開催（普及）
活動名	世界相撲選手権大会・世界ジュニア相撲選手権大会
助成金額	6,400,000 円

### ■調査内容

令和5年度競技会開催（スポーツ普及活動）助成を受け、「世界相撲選手権大会・世界ジュニア相撲選手権大会」を開催した公益財団法人日本相撲連盟の調査を実施しました。

本活動は、2023年10月7日（土）に世界ジュニア相撲選手権大会、8日（日）に世界相撲選手権大会が開催されました。これまで1992年以降は毎年開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2019年の大阪大会開催を最後に中止が続いており、4年振りの開催になりました。開催にあたっては、国際紛争による開催国の変更や、国内の情勢不安により大会不参加になる国もあるなど、国際情勢の影響も乗り越え、27か国から約250名の選手が参加しました。

運営面では、会場付近にホテルが少ないために手配することとなったホテルから会場までのシャトルバスの運行、日本開催を機会とした国際的な審判の技術力向上、より明確な裁定のためビデオ判定の導入など充実した大会運営を行っていました。また、YouTubeによる大会のLIVE配信や助成金を活用して入場料を無料にするなど普及を目指した取り組みもみられました。

アマチュア相撲と大相撲との異なる点としては、階級制、個人戦だけでなく団体戦があること、1日のなかでのトーナメント形式で行われることが挙げられ、勝ち抜き戦ならではの緊迫感が感じられました。また当日は、各国からの応援も見られトーナメントが進むにつれて会場も盛り上がりを見せていました。

次回は、ポーランドでの開催が決定しており、今後も世界各国で世界大会を開催しながら相撲の魅力の発信に努めていくそうです。本大会を通じて、日本だけの文化ではない世界のSUMOとして、またオリンピック正式競技を目指してより世界への普及・発信につながることを願っています。

（令和5年10月7日往査）

（写真）世界ジュニア相撲選手権大会の様子

